

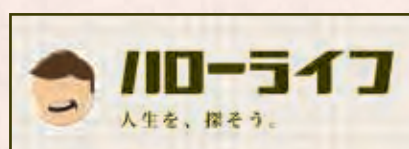
笑いのまち・大阪を取り戻すために。

あなたにしてほしいこと。

まずはレイブルへのご理解をお願いします。

これまで一括りに「ニート・ひきこもり＝怠け者」と評価されていた若者の中に、「働きたいという意志を持ち、就職に向け行動を起こしている若者(＝レイブル)」が大勢います。レイブルは、ちょっとした理解やサポートで、職業的自立と企業貢献を充分に実現できる若者です。まずは、レイブル応援プロジェクト「大阪一丸」の取り組みを知っていただき、レイブルたちの実態にご理解・ご支援をお願いいたします。

御社の魅力をご発信ください。



レイブルを含む全ての若者に向けた求人広告サイト「ハローライフ」では、職場と人の魅力を最大限可視化した広告記事を掲載し、若者と職場とのよりよい出会いの機会を創出しています。御社のスタッフの魅力、自慢の制度や職場環境の発信に、ぜひご活用ください。

記事掲載企業募集中!

広報企画タイアップにご協力ください。

大阪一丸では、CMやポスター・WEBなどの広報ツールを用意しています。

CM・ポスター	レイブルの実態を正しく伝え、応援していこうとする気運を高めるためのCMの放映枠(15秒)や、ポスター(81)を掲示してくださる企業様を募集しています。	
WEB	応援メッセージ	企業様・著名人や有名人のみなさまからの、レイブルへの応援メッセージを募集中。
	ロゴ掲載	元レイブルの採用経験をお持ちの企業様や、大阪一丸にご賛同いただけます企業様のロゴを、「応援企業」として掲載中。
	バナー設置	御社 HP 内に大阪一丸バナーの設置をお願いいたします。

コンテンツ企画開発においてご協力いただける企業様も募集しています。



FM OSAKA様とのコラボレーションでタイアップ番組を放送中です。ニート・ひきこもりの支援団体や支援制度を導入している企業様、当事者をゲストに迎え、「働くこと」をテーマにお送りしています。

みなさまへ

さまざまな自立支援プログラムをご活用ください。

大阪一丸で開発する求人広告サイト「ハローライフ」をはじめ、大阪にはさまざまな支援機関や制度があり、職場体験やメンタルサポートなど、幅広く若者一人ひとりの状況に合わせ、自立に向けてサポートしています。ご本人のご利用はもちろん、家族や友人にサポートを必要としている方がいらっしゃいましたら、ぜひご紹介ください。



支援窓口にご相談ください。

レイブル・ニート・ひきこもり状態にある若者・ご家族の状況は、それぞれ異なります。それぞれに合った支援の形をご提案しますので、まずは一度ご相談ください。

サポートステーションについて

15～概ね39歳の「働きたいがどうしていいかわからない」「ブランクがあって社会参加に自信がない」など、就労について悩みをもつ若者(若年無業者)とその保護者・家族の方を対象とした就労支援サービスです。お近くのサポートステーションへお気軽にお問い合わせください。支援メニューの詳細は、お電話やホームページでご確認いただけます。

□ 大阪府若者サポートステーション
住所：大阪市中央区北浜東3-14 エル・おおさか 11 階
電話：06-4794-7266

□ 大阪市若者サポートステーション
住所：大阪市東淀川区東中島 1-13-13
大阪市立青少年センター KOKO PLAZA 3F
電話：06-6328-0550

□ 北大阪若者サポートステーション
住所：高槻市大畑町 12-1 プチプラザ摂津地下 1F
電話：072-696-8060

□ 東大阪若者サポートステーション
住所：東大阪市高井田元町 2-4-6 岸田興産ビル
電話：06-6787-2008

□ 南大阪若者サポートステーション
住所：泉佐野市下瓦屋 222-1
泉佐野市立泉佐野人権文化センター 2F
電話：072-464-0002

□ 枚方若者サポートステーション
住所：枚方市新町 2-1 ホース・フレンズ枚方セラビー牧場内
電話：072-841-7225

支援団体について

大阪には、若者の自立支援を行うさまざまな支援団体があります。団体により支援の仕方はさまざまです。小さなことでも構いませんので、まずはお気軽にお問い合わせください。ご家族からのお問い合わせもお待ちしております。

※「レイブル応援プロジェクト 大阪一丸」においてご協力いただいた団体の中から、ニート・ひきこもりの若者支援を事業展開する支援団体を掲載しています。

□ ネクストステージ大阪 LLP
住所：大阪市天王寺区北河堀町 8-18 矢野紙器株式会社内
電話：06-6772-0776

□ NPO 法人大阪虹の会
住所：高石市加茂 1-20-2 グリーンモールたかいし 1F
電話：072-265-2021

□ NPO 法人関西青少年自立支援センター NOLA
住所：奈良県吉野郡吉野町小名 1441-2
電話：0746-35-7656

□ NPO 法人暮らしづくりネットワーク北茨(らいとびあ21)
住所：大阪府箕面市萱野 1-19-4
電話：072-722-7400

□ NPO 法人ソル・ライフ・ネット
住所：大阪市天王寺区上本町 8-7-25
電話：06-6777-1141

□ NPO 法人発達障害をもつ大人の会
住所：大阪市北区曽根崎新地 1-3-32 新地リパティビル 8 階
電話：06-6347-9158

□ A'ワーク創造館
住所：大阪市浪速区木津川 2-3-8
電話：06-6562-0410

□ NPO 法人淡路プラッツ
住所：大阪市東淀川区下新庄 1-2-1
電話：06-6324-7633

□ NPO 法人子ども・若もの支援ネットワークおおさか
住所：大阪府富田林市山中田町 2-15-27
電話：072-1552-959

□ NPO 法人み・らいず
住所：大阪市住之江区南靨屋 4-4-19 南靨住宅 3F
電話：06-6683-5533

<http://www.osaka1gan.jp>

大阪一丸 タブloid新聞 2012年2月10日発行

Credit レイブル応援プロジェクト 大阪一丸
主催：大阪府
企画/運営：NPO法人トイボックス・NPO法人スマイルスタイル
Information 大阪市西区西本町 2-1-1 RE009 4B
06-6568-9199 (NPO 法人スマイルスタイル内)
info@osaka1gan.jp

レイブルが、 今年の 流行語大賞 いただきます。



レイブル応援号外新聞

新語「レイブル」発表



「こんな場に出るやつニートじゃない」「会議してる暇があったら働け」「ちょっとまで。これはいい会議じゃないか？」2011年11月23日(勤労感謝の日)に行われた大阪ニート100人会議は、その告知が各メディアで取り上げられると同時に、若者たちの間で賛否両論の声が巻き起こった。参加した若者たちは、「働くこと」に対し何らかの不安や願いを抱えて参加したことだろう。



大阪ニート100人会議とは

ニート・ひきこもり状態にある若者の就労支援策を探るために企画。ニート・ひきこもり状態の若者約100人が集結し、10時から18時すぎまで丸一日かけて、理想の働き方やそれに向けた課題、必要な就労支援策について話し合った。検討結果は、今後の大阪府の施策に反映される。



ニート・ひきこもり状態にある若者の中には、就職に向けて行動している若者も多いが、「ただの怠け者」「甘えているだけ」などと誤解されがちだ。そこで、そうした先入観をなくすため、働く意志を持つニートを「レイブル」(レイトブローマー/late bloomerの略、遅咲きの意)と呼ぼう!と提案。適切な制度や支援があれば十分に企業貢献できる存在、それが「レイブル」だ。この新しい言葉・考え方については、新聞やニュースで報道された他、当日のうちにインターネットで話題になるなど、若者たち自身の間でも反響を呼んでいる。

テレビ・新聞・ラジオなど、数十社の取材陣が押しかける中、開会式では、自身もニート経験のある運営側代表が「今日は、勇気を持って来てくれてありがとうございます。」と挨拶。ニート状態を自転車の乗り始めにたとえ、「一度バランスを取れば走り出せるが、僕は転んだらどうしようと思い、ペダルを踏み込めない状態。現状の辛さやどんな支援・仕組みが必要かといった声を聞かせてほしい。」と呼び掛けた。ニート状態の若者の数は全国で約60万人、大阪府内で約5万人。このうち府の就労支援施設で面談した

大阪ニート100人会議
就労への課題探る

約1500人では、6割強に明確な就労意欲と行動が見られる。会議の冒頭に放映されたオープニング映像では、そのようなニート状態の若者の実情が取りまとめられ、悪いイメージばかりが先行するニートの現状を「このままでいいのか」と訴えた。「いつの時代も、世の中を変えていくのは若者だ。さあ変えよう。未来を。」となげかけ、これから始まる会議への期待を呼び起こした。続いて、レイブル代表が登場。自身の経験や思い、会議への意気込みをありのままに語った。

状況からの脱出ねらい、声集める。

佐藤さん：高卒後就職した会社で、社会人としてのマナーがなっていないなどと上司に怒られていた。今なら充分に理解できる指示も当時は素直に聞けず退社。これからは怒ってくれる人の話を受け入れ、活かしていきたい。
桜井さん：会社を辞め、ニート状態になって6年。退社のきっかけは孤独感。昼の休憩時、他の人はグループで過ごしているのに、自分はいつも一人。次第にその場にいることすら苦痛になってきた。

村田さん：若者自体も発言力は弱い、ニートはさらに弱い。このような場なら、普段はガンガン発言できない人も話しやすいのでは。思っていることを出して伝えていきたい。ニート状態になった事情や現在置かれている状況は、人それぞれだ。そこで、今どんな困難があり何を必要としているのかを知ることからスタート。ニートやひきこもりに関する支援の仕組み、就労支援窓口などについて大阪府から説明を受けた後、感じたこと・思っていることを語り

合った。会議は、4～5名ずつに分かれ、途中席替えを繰り返しながら進行。一人ひとりの意見を引き出すよう工夫し、誰もが気軽に発言できる和やかな雰囲気で行われた。思いついたことはテーブル上の横造紙に書き込む仕組みで、発言の苦手な人も思いを伝えられるよう配慮した。



4,5人ずつのグループに分かれテーブルごとに議論が行われた。 遠らない、否定しない…等のルールで、意見を出しやすい雰囲気に。 横造紙は自由に書き込む、発言の苦手な人も思いを伝えやすく。

自分たちの「困難」を客観的に捉え、生まれたアイデア ※一部抜粋

自分たちの置かれている状況などを把握したあとは、課題解決に向けた「アイデアの種」を考える。たとえば「ニートを生まないアイデア」「レイブルが就労できるアイデア」「現状の問題点」についてなど。まず各自が考え、次に他の人の感想や意見を聞きながらブラッシュアップ。最終的に20近いアイデアが誕生した。その内容は、レイブルを認知させるアイデアからニートを生まないための教育プラン、新しい採用の仕組みまでさまざま。

■新しいコミュニティをつくる。

同じ趣味や特技などを持ったレイブルが集まれるコミュニティをつくり、やりたいこと・できることを見極め、自分たちで仕事をつくる。企業とコラボしてイベントを開催したり、社会を巻き込んで活動を行う。また、レイブルコミュニティは、コミュニケーション能力を向上させたり、技術を見いだせる場としても役立つ。

■小学校から充実した職業体験を。

勉強だけでなく、働くことの大切さを子どものころから学ぶ。小学校から高校の間に就業体験を設け、やりたい仕事・興味のある仕事をどんな体験できるプログラムをつくる。体験を通して、仕事に対する考え方が変わったり、新しい選択肢が生まれることも。

■新卒採用原理主義(年齢差別)を変えよう。

新卒採用を中心とする企業が多いため、卒業後のスキルアップ期間さえマイナスに捉えられてしまう。そこで、履歴書の記入方法を変更。時系列で細かく記入するのではなく、何をしてきたかがわかればよいようにする。空いている期間の有無で判断されることなく、チャンスを公平に。

■「レイブルタレント」の輩出

世間や企業にレイブルを理解してもらうため、レイブルタレントを誕生させる。動画サイトなどを通じて、ニートとレイブルの違いやレイブルの真の姿を知ってもらう。レイブルタレントのスポンサーや体験雇用をしてくれる企業も募集。アイドルたちは期間限定で、いつか卒業＝就労するという仕組み。

■コミュニケーション力に負けない「職業スキル登録」

コミュニケーションに不安を持つレイブルが多いが、スキルはある(あるいは身につけられる)ことに着目してほしい。職業スキルはもちろん、特技も含めて登録できる専門機関をつくり、機関がスキルレベル等を客観的に判断して認定。自己アピールが苦手なレイブルも就労しやすいようにサポートする。

明日のために。ここからがはじまり。

「大阪ニート100人会議」は、こうして100人近いレイブルの声を集めて幕を閉じた。何か新しいことをするには大きな力が必要だ。たとえば、レイブル問題に関心を持ってみる。周りの人がほんの少し見方を変える。レイブル自身が勇気を持って一歩踏み出す…。まずは、そんな小さな変化を重ねることからはじめていくのだと感じた。今回挙げたレイブルたちのアイデアが問題の解決に結びついていくのか、疑問が残る見方も否定できない。しかし、長時間に及ぶ会議の中でのレイブルたちの対話やふれあいから生まれたものは、

何にも変えがたい価値があったと確信している。会議のはじまりにあった不安そうな表情が、イキイキと力強いものへと変化していったあの時間を、必ず大阪の未来へつなげていくことを約束したい。

■感想(アンケートより)

一人ひとりの意識が高く、ニートに対する考え方が変わった/いろんな想いや理由を抱えていること、世の中の実情を知った/すごい収穫があった。視野が広がったし、ある意味

暗いテーマだが笑顔になってポジティブになった/普段聞けなかった話やいろんな人と出会ってよかった/自分に足りないものや、世の中に足りないものが少しだけわかった/話し合う場が大切であると感じた/ニートが参加できるイベントをもっと増やしてほしい/ニートの声を行政に届けてほしい/今後もこの会議を続けてください

レイブル。それは、将来必ず花を咲かせる 若者のこと。

ニートの中で、働く意志を持って

行動を起こしている若者をレイブルと呼びます。

今はまだ就職活動まで至っていないものの、

これから先、みなさまのちょっとした理解やサポートで、

十分に社会や企業に貢献できる若者のことです。

レイブルが就職活動に至っていない理由は

「就職活動がうまくいかず、傷ついてしまった」

「一旦就職したが職場になじめなかった」

「就職活動の前に実習や資格取得が必要」

などのさまざまな要因があります。

「卒業したら正社員で働くべき」という価値観を見直して

レイブルのこのような“遅咲き”を、

少し寛容に捉えてみませんか？

Background

アメリカなどの海外では、卒業後すぐに就職せず、学生時代にできなかったさまざまなことに取り組んで経験を積んだ若者を歓迎する「レイブルブローマー」風潮があり、そのような若者を「late bloomer」と呼びます。例えば、世界を旅したり、アルバイトをしながら憧れていた夢に挑戦したり、ボランティア活動に力を入れたり。そうして自分の視野を広げた若者は企業にとっても、プラスになると考えられているのです。

late bloomer (レイトブルーマー) の略。
遅咲きの意。ニートの中で、
働く意志を持ち行動を起こしている
若者を指す。

レイブル【れいぶる】

令閨（れいけい）。令室。
れいぶつ 【礼物】

1 典礼と文
2 めいもつ（礼物）

労働力調査・就業構造基本調査を踏まえたレイブルの捉え方（15～34歳）

労働力人口	就業者	何らかの職に就いている人
	失業者・求職者	就職を希望し就職活動をしているが、職に就けていない人。 《仕事があればすぐに就くことができる》
非労働力人口	起業準備中の人。	
	就職希望者（非求職者）	働きたいとの意志を持ち、就職活動に向けた行動を起こしている人。 《仕事があってもすぐには仕事をする事ができない》
	EX)	・資格取得などの勉強中 ・サポートステーション等の支援機関へ通所中 ・仕事の情報収集中 ・自分磨き中（バックパッカー、農家に住み込み体験など）
	就職希望者（非求職者）	働きたい意志はあるものの、就職に向けて何も行動を起こしていない人。
定義上のニート	非就職希望者 1	働きたくない人／就職意志のない老人／家事や通学をしていない主婦・学生
	非就職希望者 2	家事や通学をしている主婦・学生

専門家からの分析

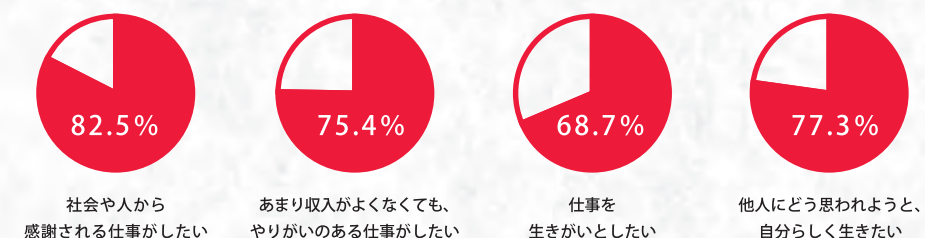
ニートとは教育、労働、職業訓練のいずれにも参加していない「状態」のことを指す言葉です。一般的に「働きたいという意志があればニートではない」というイメージがありますが、ニートの定義はあくまで「状態」を指すものであり、働きたいという意志があるかないかということは一切含まれません。資格試験の勉強中の人、地域若者サポートステーションへ通所中の人など、ニートの中には、働きたいという意欲を持ち（就職希望し）、就職活動に向けた行動は起こしながらも就職活動にまで至っていない若者（就職活動まで至っていないため非求職者）が多く含まれています。彼らは就職の情報がうまく集められなかったり、メンタル面に弱さを抱えていたり、社会的スキルが少し低かったりといった理由で就職活動に至っていない現状があります。彼らが働くまでにはいくつかの支援が必要になり、そういった支援が必要な若者を焦点を絞った言葉で表現できないものか。そういった発想からレイブルという言葉が生まれています。大阪一丸はそのような支援層に着目した、全国的にも初めての取り組みです。

（大阪大学非常勤講師 井出草平）

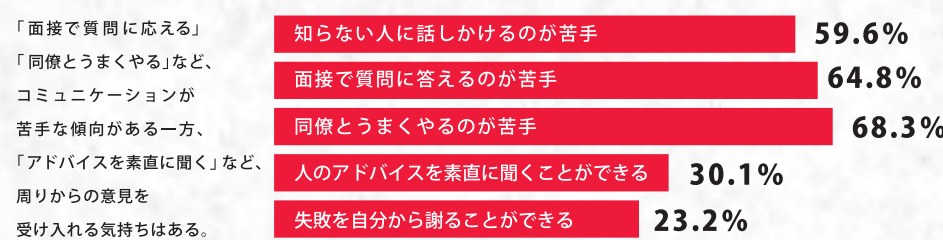
調査研究報告書に基づいたニート状態にある若者の意識

※厚生労働省「ニートの状態にある若年者の実態及び支援策に関する調査研究報告書」より

■仕事に対して前向きで、自分らしく生きたいと思う。



■人と積極的に話すなどコミュニケーションについて



ニート・ひきこもりの実態

大阪では 約 **55,000人** の若者がニート・ひきこもり。

今回、大阪一丸では誰にとっても身近な「就労＝働くこと」と切っても切り離せない、ニート・ひきこもり問題について考えていきます。ニートやひきこもりと聞くと「ただの怠け者」などのイメージを持つかもしれませんが、でも、彼らは本当に「ただの怠け者」なのでしょう吗？

ニートとは？

Not in Education, Employment or Training（教育、労働、職業訓練のいずれにも参加していない状態）の頭文字をとってNEET。国の定義では若年無業者といい、「非労働力人口のうち15～34歳の家事も通学もしていない者」とされている。

大阪府のニート状態にある若者の男女比＝約 **5:3**

男性  女性 

 = 1000人

ひきこもりとは？

仕事や学校などに行かず、なおかつ家族以外の人ともほとんど交流をせずに6カ月以上続けて自宅に引きこもっている状態。自室からほとんど出ない人から、普段は家にいるが自分の趣味の用事の時だけ外出する人まで、その状態はさまざま。ニートの中にはひきこもり状態にある若者もいる。

左記のようにニート状態にある若者は、大阪府で約55,300人（男35,900人、女19,400人）全国では約632,700人（男394,600人、女238,200人）。

15～34歳の人口に占める割合を見ると、大阪は2.5%となり全国の割合2.1%より多くなっている。
※「都道府県別若年無業者数及び割合（就業構造基本調査）」より

なぜ今、この問題を考えるべきか

ニート・ひきこもり問題は他人事ではありません。以下のような問題に直結しているとても身近な問題です。

生活保護費の増大 / 労働人口の減少
産業競争力の低下 / 所得格差の増大

ニート・ひきこもりのイメージって

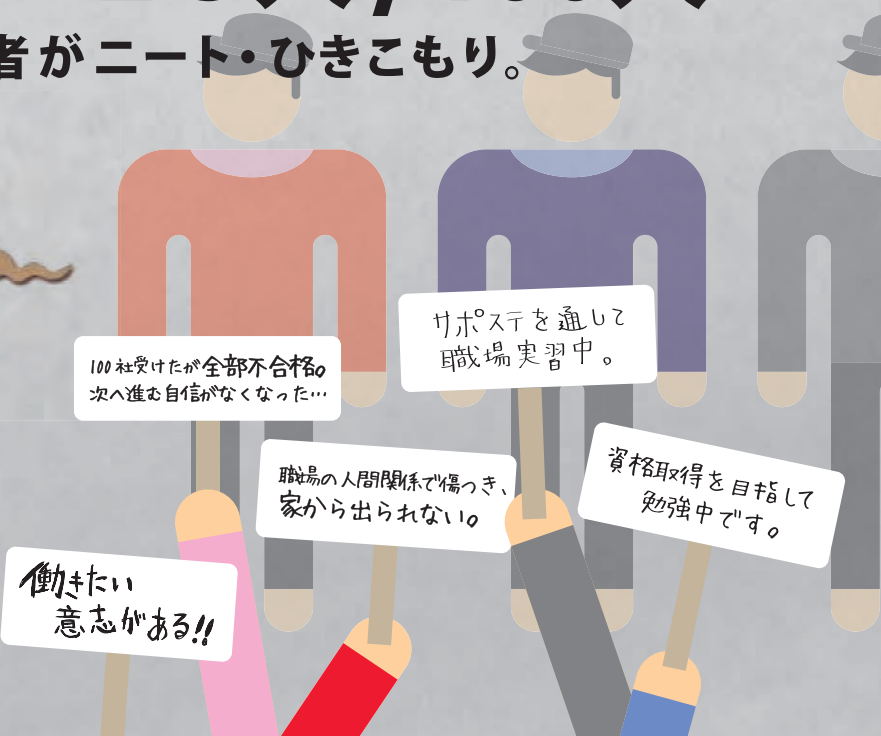
ニート・ひきこもりに対する世間の声には、否定的なものも多く見られます。例えばこんな意見が。
本人の努力が足りない / 親に頼り、ラクをしたいだけ / 働くのがイヤな怠け者 / 部屋にこもってゲーム三昧 … etc

でも!

実際には、
違う姿をもつ若者が大多数！

ニート・ひきこもりから脱出したいと行動する彼らを「怠け者」ではなく「レイブル」と呼ぼう！

大阪では **2.5人/100人** の若者がニート・ひきこもり。



「今を生きる」若者、レイブルの声。

「不安」は「期待」にしてもいい。
なりたい自分になれるまで。

芸術系の大学に通い、就職活動では広告や出版、WEB制作などの職種を希望していました。
就職面接を100社以上受けましたが、全部落ちてしまって。
いつもは明るい性格ですが、さすがに落ち込みました。
グループワークで、まずはお互いを知ることからと思い
「自己紹介しよう」って切り出してみたんですけど、
「いや、そんな時間ないやろ」という声。
退けはいいのか思ったことを話せばいいのか、
人とのコミュニケーションの仕方に迷いが生まれました。

そうじゃない会社もあると思いますが、
僕が見た就職活動は大学時代に何か活動していないと
冷やかな目を向けられ、
実践を求められ、喋った内容で評価されて、
ナンパワンばかりが好印象。
そんな仕事探しの現場を見て、次へ進む自信がなくなりました。
まあでも…そこで諦推できなかったのがダメだったのかな。

なので、今は「経験をもっと積まなきゃだめだ」と思っています。
浪人や留年というブランクを乗り越えて、
志望していた大学に入る人がいるように、卒業後のブランクを使って、
周りに負けないようななかを身につければいい。
そうして独学で始めたのがWEBの勉強です。
WEB以外にも、必要なスキルや業界に関する勉強をしています。
まだ漠然としていますけど、
やっぱりものづくりの現場に携わる仕事に就きたい。
ものづくりを仕事にしている自分を想像すると、
すごく楽しそうな顔をしています。

職に就くってチカラを身につけて、
そこからでもいいと思います。
日本は豊かなはずなんです。
仕事なんていくらでも作っていきけるはず。
「固まってない」って、悪いことじゃない。
自分はどうなるんやろうって不安は、
自分への「期待」にしたいと思っています。
自信を取り戻したら、
改めて就職活動しようと思っています。
また100社、次は200社落ちるかもしれません。
でも、今確実に前に進んでいるってことを糧にして、
頑張ろうと思います。

松野 陽介さん 23歳

充電がたまったら、
自信を持って、履歴書を書きたい。

高校生のとき、学校を中退し引きこもりになりました。
通信制の高校を卒業し、大卒後に就職活動をしたが、
その際にいつもぶち当たることが2つありました。

1つ目は、履歴書に書くことがないこと。
自分が何をしたいのかがまだ見えません。
だから志望動機も自己PRもうまく書けなくて。
ほとんどが書類落ちでした。

2つ目は、人の評価や目線が極度な不安になってしまうこと。
就職活動は誰もが不安だと思いますが、
私の場合、就職活動の場だけに限らず、
人の一瞬の表情や仕草が不安要素になりほとんどの人にとっての
「ある程度の不安」が「脅威的な不安」になってしまいます。
どうしても何か行動を起こす・前に踏み出すのに、
人より時間がかかってしまいます。
そんな私が社会に出たところで、
やっていけるのかどうか不安です。

今は、就職活動に再チャレンジできるようになるまでの充電期間。
自分がしたいことが分らないのも、
極度な不安が生まれてしまうのも、乗り越えていくのは私自身。
仕事に関する情報収集をしたり、
職業体験を通して自分の強みを見つけたりして
履歴書に書けるような経験を積んでいる最中です。
いろんな環境に自分を置いて
「私は大丈夫だ」「こんな時はこうするといいんだ」という
安心を作って就職活動に踏み出したいと思っています。

世の中には多数派な意見や感覚とは違う、
少数派の人が必ずいます。
歩く、話す、書くなど生きるスピードもみんな違います。
私が言うのも変なのかもしれませんが
「そういう人もいるんだ」って受け止めてくれる社会になったら
勇気を持って一步踏み出せる人が
増えるんじゃないかな、なんて思っています。
私自身が努力していくことは、大前提として。

私にはひとつ、絶対的な目標があります。
「しんどい」という言葉は口に出さないようにすること。
私の母がそうなんです。
私たち子どもの前ではへこたれたり
「しんどい」って言ったことがなくて。
何があっても、どんな環境でも、
周りに「いつも楽しそうだね」って言ってもらえるような
お母さんみたいなタフな女性に、いつかなりたいな。

ナルミーさん 24歳

「何度でも挑戦し続ける。」「生きる力を身につけたい。」自分なりの働き方を模索する、さまざまな若者の実態。
3人のレイブルにお話を聞いてみました。彼らの声に少し耳を傾けてみてください。どこかに共感する部分があるはず。

ダメージと葛藤。
乗り切って本当の強さがほしい。

大学卒業間近、就職活動を試みましたが、
どの企業も受けませんでした。
自分を否定されたような気持ちになり、半年ほど引きこもり状態。
何かしたい、仕事もしたい。けど、受からない見つからない。
もやもやでいっぱいでした。
カウンセリングも受けてみましたし、
親からの紹介で、サポートステーションにも週2回ほど通っています。
話をしたり、相談に乗ってもらったりして、
先の光が少しだけ見えるようになりました。

元々、僕は人とコミュニケーションをとるのが苦手で、
普通の人より覚えるのが遅く、
一度言われたことでもよく失敗してしまうんです。
中学の部活では、明らかに僕にだけ態度が違う顧問の先生。
高校時代のバイト先では、上司との人間関係に悩み、暴力を受けることも。
人とベースが違う自分を
理解してもらえないことに憎しみが湧きました。
思い返せば、学生時代は人を憎んでばかりでした。
みんな敵に見えましたし、心配してくれる人がいても、
正直関わらないでほしいと思っていました。
一人を憎むと、関係ない人にもまで矛先が向いてしまって、
「ここで終わりたい」と、何度か自殺を考えたこともありました。
でも、そんな逃げ方は「負け」のような気がして。
高校時代にやっていたバイトは、気付いたら4年続いていた。

最近はボクシングにはまっています。
動画や本を見て、見よう見まねで練習中。
強くなりたんです。
強くなくて、強くなったところを周りに見てほしいから。
僕のような人のこと、
「こいつはアカン」って見る人もいると思います。
働こうという気持ちはあるのに、
そう見られると追い込まれていきます。
でも「仕事就いてないやつ」=「怠け者」は絶対に違います。
やる気はすごくあるんです。
でも僕はそこで何とかなるのが本当の強い人だと思います。
僕はそういう強さが欲しいし、
周りの人を信じられる人になりたい。
いつかそうになったら、僕のような人に、
少しでも勇気を与えられたり、
役に立てるようなことをしたい。

樋口 昂さん 24歳

レイブル応援プロジェクト

大阪丸 開幕

府民も企業も行政も、大阪が「丸」となって問題に取り組んでいきたい。
そんな想いを、プロジェクト名とロゴマークに込めました。

円の中に「一」を入れ、団結を象徴、少し微笑んでいるようにも見えるマークは
「笑える社会になってほしい」との願いを表しました。

市町村・企業・NPO・NGO・市民も「丸」でつながり、結束・団結・情熱・活力を表現

府民も企業も行政も、大阪が一丸となって問題に取り組んでいきたい。
そんな想いを、プロジェクト名とロゴマークに込めました。

円の中に「一」を入れ、団結を象徴。少し微笑んでいるようにも見えるマークは「笑える社会になってほしい」との願いを表しました。

また、エネルギーな赤色をイメージカラーに用いて、結束や団結、情熱、活気を表現。

また、エネルギッシュな赤色をイメージカラーに用いて、結束や団結、情熱、活気を表現。

この笑えないまちに、
本当の笑いを。



大阪のみなさん。

すでにお気づきだと思いますが
「笑いのまち」だと思っていた大阪は今、
「笑えないまち」になっています。

たとえば生活保護受給者数、全国最多。
30000人を超えるホームレス人口。
ニート・ひきこもりの数55000人。

笑いのまち・大阪の裏側にあるのは日本一を争う、笑えない現実。

元氣なことが当たり前だと思っていた若者から、
「なんだかちよつと未来が見えない。」
そんなつぶやきを聞くことも、今では多くなってきました。

いつの時代も、変えていくのは若者なのに。

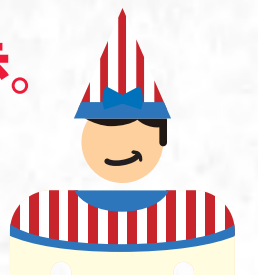
ひとりのヒーローの1000歩じゃなく
一丸となった何千人・何万人のたった1歩が
本当の笑いを取り戻すんだと、
そんな物語を信じてくなるのは
人情厚き大阪人気質のせいでしょうか。

まずは、ニート・ひきこもり問題から。
今、一丸となるとき。

本当の笑いを、取り戻そう。



まちを本気で笑わすために、私たちが踏み出した確かな一歩。



大阪一丸の目的 その1

府民のみなさまに、レイブルの実態を正しくお伝えし、彼らを応援して、いこうという気運を生み出すこと。

大阪一丸の目的 その2

レイブルの職業的自立のため、
府民や企業のみなさまに「一歩」を
踏み出していただくこと。

1 広報ツールの発行

まずは大阪一丸を知ってほしい。
そして、レイブルという若者の存在を発信したい。

2011.12 ~ 2012.3

レイトブローマー (late bloomer: レイトブルーマーの略) という言葉は、まだ日本ではなじみがありません。そこで、まずレイトブローマーという若者を知っていただき、その実態をご理解いただくきっかけとして、各広報ツールを制作します。

大阪二一ト100人会議

府民・支援団体・企業が丸に。
メディアで話題を呼んだあの会議。

2011.11.23 • 12.15
2012.1.26

2011年11月23日(勤労感謝の日)、ニート状態の若者100名による「大阪ニート100人会議」を開催。ファシリテーションプログラムにより、意見交換・情報共有を行い「働く」ということにおける、自身や社会の問題点とその解決策、これからの理想像を話し合いの機会としました。若者たちの意見は、その後実施した支援団体や企業との「支援策検討会議」に活かされました。各会議のレポートは、大阪一丸公式ホームページでご覧いただけます。



3 支持

支援ガイドブック作成
講習会

2012.2 ~

本人、家族、地域をつなぐ
ガイドブック、できました。

地域で活動されている民生委員・児童委員の方々に活用いただくための、支援ガイドブックを作成。経験談の手法、ひきこもりの二つの紹介とその関係者による経験談、専門家の意見、支援施設などを紹介する。経験談と支援施設のページは、当事者や家族にお渡しできるような別冊となっており、支援施設などにも設置予定。あわせて、民生委員・児童委員の方々に、経験談に登場するモデル本人から理想の支援の形を伝える講習会を行います。

※支援ガイドブックの内容は、大阪一丸公式ホームページからもご覧いただけます。

5 5

求人広告サイト **ハローライフ**

※ 内容は一部変更する場合があります。

人生を、探そう。 若者の職業的自立と、企業の魅力発信を応援するプログラムの開発

2012.1 ~

ハローライフは、まだまだ知られていない企業の魅力を取材記事を通じて発信し、若者と企業のよりよい出会いを生み出します。大阪にはレブールの雇用に関心のある企業や、魅力ある職場環境・スタッフを持つ職場が多くあります。企業のみならずには、自社の魅力発信にご活用いただき、意欲のみならずには、新しい仕事探しの場としてハローライフをご活用いただければと思っています。理想的な職に出会い、働くことの喜びを感じることができ、若者がとりでも多く生まれるよう、2つのアプローチから支援を行います。

1. 職との出会いを提供 求人情報の波に埋もれ、注目される機会が少なくなってきた企業の職場やスタッフの魅力を取材し、空気を現場感を生発信。	2. 職場環境の改善や新しい仕事づくり 新しい職場環境づくりを提案・企画・推進し、企業とともに若者がイキイキと働くことができる社会づくりを進めています。 新しい労働市場・就労支援の開発にも取り組んでいます。
--	---

若者と同じ目線で取材！ 運営スタッフが丁寧に現場を取材し、求職者の目線に立った記事を配信。	「性格検索」ができる！ 「会話が苦手」など、自分の特徴に合わせた「性格検索」機能を搭載。
理解ある企業を掲載！	多様化する若者の働き方に共感し、レイバルの実態を理解した上で、採用に意欲的な企業を掲載します。また、職場環境改善や社員満足度向上、業界改善に積極的な企業の紹介もしています。

若者の現状

「自分に合う仕事が見つからない」
「仕事を生きがいとしたい」
日々多様化する若者の働き方。
給与や勤務地・業種に加え、
職場の雰囲気や人間関係も
重視している若者も増えてきています。
「社会や人から感謝される仕事がしたい」
と仕事を探してみたものの
なかなか見つかることができず
情報収集を諦めてしまう現状もあります。

詳しい利用方法は
大阪一丸HPへ！

労働人口が増え、
大阪のまちや人が **もっと元気**になる。

職の魅力や業種を新しくつくり、
今ある職場環境を改善したり、本来ある魅力を発信したり、
「働くこと」の魅力を企業が大阪一丸とともに新しく作り出していくことで、
若者と職のよりよい出会いが創出され、働くきっかけや職業選択の幅が広がります。
また働く人が増え、きちんと税金を納める人が多くなると、
わたしたちの暮らしが安定し、よりよいものになります。
生活保護受給者減少にもつながります。

企業の活気が増し、
**産業そのものが
強くなる。**

大阪に多い中小企業をはじめ大企業に至るまで、
さまざまな産業分野で多くの若者が活躍。
大阪を支える企業が一層元気になり、
産業競争力が底上げされます。

子どもたちの
将来の仕事に対する
憧れが育ち、
夢が広がる。

ほんとうに
やりたい仕事を
する人が増える

大阪・笑え

すべての人に、もっとイキイキと働けるチャンス。大きな

「遅咲き」に寛容な社会になり、
若者が**のびのびと成長**できる。

学業卒業後すぐに、その後の道が定まらない若者が大勢います。
「就職活動がうまくいかなかった」「就職活動の前にさまざまな経験やトレーニングが必要」など
さまざまな理由を抱えながらも働きたいという意志を失うことのない若者を、
寛容に受け入れ応援していく社会的風土をつくりたいと思っています。
レイブルが自身の成長と意志のもとで職と出会うことで、
企業側はやる気と企業貢献度の高い人材を採用することができます。

人にやさしい企業
仕事に励む若者が増える。

働きたい若者を応援しようという企業が増え、職場環境改善やさらなる魅力づくり、
若者の成長機会の提供(職場体験・職場見学など)への取り組みが進みます。
新しい労働市場や就労支援の在り方をともに考え、
つくる人が増えれば若者の雇用機会が拡大され双方にとって
幸せな形を創出することができます。

社会不安が軽減され、
府民の**笑顔が増える。**

少しでも働くことへの魅力や希望が見えると、
漠然とした社会への不安感・不信感が
軽減されていくのではないのでしょうか。

るまちへ。

ことを言ってしまいましたが、わたしたちは大真面目です。